大阪損保革新懇ニュース

大阪損保革新懇事務局
大阪市中央区瓦町 1-7-1
エスペランサ瓦町ビル 4 階
06－6232－1095

明けましておめでとうございます

ロシアによるウクライナ侵略は、収束する様子はなく、多くの悲劇を生み出し、戦争の悲惨さがあらわになっています。

本来、憲法９条を掲げる日本の政府の役割は、平和の大切さを世界に訴え、戦争を終結させるために奮闘することのはずです。しかし、岸田政権は、ウクライナや周辺情勢をことさらに強調し、敵基地攻撃能力の保有に踏み出し、軍備拡張・軍事費確保のための大増税を進めようとしています。また、原発政策では、60 年超えの老朽原発運用を可能にする方針などを表明しています。福島事故の反省もなく、地震国日本で原発推進政策を再び進めようとしています。

物価高騰が叫ばれる中、年金、医療費、介護保険制度の改悪を狙うなど、国民の暮らし破壊の大暴走を進めています。

大阪では、維新政治のもと、コロナによる死亡者は全国一と有効な対策は講じられておらず、学校では競争をことさらにあおり、生徒に寄り添う教育は求められていません。そこにあるのは、弱肉強食の新自由主義を率先する政治です。

今年は、統一地方選挙が行われます。平和や日々の暮らしを守るという、多くの人たちの思いを結集し、真の野党の躍進で、政治改革を実現する、大きな一歩を踏み出す一年にしていきましょう。

2022 年を振り返る

1. 「みんなが希望をもって生きられる平和でゆたかな日本を」と夏特集号ニュースを作成する

参議院選挙に向けて、政治課題、損保職場の問題・あり方を訴える内容で作成しました。「ニュース」は、革新懇会員に送るだけでなく、会員が身近な人たちへの手渡し、全国の知人へ郵送したり、一人でも多くの人たちに読んでほしいとの思いで、会社前での朝ビラ、職場での机上配布などに取り組み 4000 枚を配布しました。

2. 「憲法改悪を許さない全国署名」に取り組む

2022 年２月 24 日にロシアがウクライナへ侵略する状況の中、改憲ではなく憲法をいかす政治にと独自の用紙を作成して「憲法改悪を許さない全国署名」に取り組みました。目標 2000 筆に対して 2128 筆の署名を集めました。

3. 大阪損保革新懇第 25 回総会に 125 名が参加

11 月 18 日、エルおおさか南ホールで、大阪損保革新懇第 25 回総会・講演会が、開催され、125 名が参加しました。

小畑由紀子世話人の司会で始まり、張間代表世話人の挨拶のあと、大西まゆみ世話人が「ジェンダーギャップ 116 位って」をテーマに基調報告。続いて、斉加尚代さん（毎日放送ディレクター、映画「教育と愛国」監督）が「政治で壊される教育の自由、民主主義」と題して記念講演を行いました。その後、総会議事に移り、志賀事務局長が活動報告、総会アピール、2022 年世話人・事務局メンバー21 名の提案を行い、拍手で確認されました。

4. 損保代理店シンポジウムに全国から115名が参加

５月27日、エルおおさか南ホールで、損保代理店シンポジウムが開催されました。北海道、九州のほか全国各地の損保代理店経営者など115名が参加しました。

松浦章世話人の基調報告、大門実紀史参議院議員による国会報告に続いて、代理店経営者３名がパネリストとして発言を行いました。会場の参加者８人からも発言がありました。

松浦章世話人がまとめを行い、引き続き声をあげ、全国に私たちの運動を広げようと呼びかけました。

5. 近畿財務局へ12度目の要請行動

損保代理店として、セーフテイネットという社会的役割の発揮と安定した経営の実施を求めて、今年も近畿財務局に対して、みどうすじ総行動の中で、要請行動を実施しました。

要請書では手数料ポイント制度制定に係る金融庁の責任と損保会社の対代理店に対する優越的地位の濫用の実態を明らかにしました。

6. 関西学院大学・冨田宏治教授を招き学習講演会を開催

３月11日「これからの日本政治を考える…コロナ・憲法・維新」と題して講演が行われました。

会場は新装なった〝アイクル〟で、こけら落としの講演会となり、33名が参加しました。

今年度の諸取り組み…『憲法改悪を許さない全国署名』、参議院選挙など…のキック・オフの場にふさわしい、決意と取り組みへの確信を固める場となりました。

7. 前衆議院議員の清水ただしさんを招き、学習講演会を開催

10月７日、「今の日本政治と『統一協会』」と題しての講演会を、清水ただしさんを招いて開催しました。

講演では、国葬の問題点や統一協会についての清水さんご自身の経験も取り入れたユーモアの入ったトークに参加者一同ひきつけられて聞いていました。

8. 全国革新懇総会にZOOMで参加しオンライン報告を行う

５月21日に開催された全国革新懇総会は代表世話人会からの「報告と提案」、３氏からの「特別報告」の後、「討論」となりました。

「討論」はオンライン運営のためあらかじめ全国革新懇事務室から要請された「府県・地域・職場・青年」の12団体代表からの発言で、「府県」から大阪革新懇・大原真事務局長と、「職場」から大阪損保革新懇・志賀守孝事務局長が発言しました。

9. 全国革新懇地域・職場・青年革新懇全国交流会に参加

11月19日、20日に東京で開催された全国革新懇地域・職場・青年革新懇全国交流会に張間代表世話人と志賀事務局長が参加しました。

会議２日目の職場革新懇交流会では、張間代表世話人が職場革新懇運動への取り組みを呼びかけました。

10. 「大阪のカジノ(賭博場)誘致計画を認可しないよう求める要請署名」に取り組む

カジノ事業者(MGM)が「2%の確率でギャンブル依存症の発症」を認めており、また大阪市長の「カジノには一切税金を使わない」との発言に反し、土地改良に約790億円の負担が表明されるなど、カジノ誘致計画には重大な問題があることから、全国の会員に署名の協力を求めました。